

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第148号

令和3年9月20日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
 事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
 メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
 ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa

コロナ禍における今後のコミュニティ活動

8月から9月にかけて新型コロナ禍により令和3年度のコミュニティ行事が中止又は延期になっています。コミ推会最大イベントである「夏まつり」は、令和3年度総会時に中止を決定し、きららの里「簡単ウォークラリー」を企画しましたが、茨城県独自の非常事態宣言、その後、政府の緊急事態宣言が発出され、中止になりました。茨城県、日立市の施設及び交流センターも休館が続いていますが、今後の行事は以下の通りです。

＜生活安全のつどい＞

令和3年度の生活安全のつどいは、日立市の総合防災訓練への参加が計画されており、学区内の実施方法については当初の計画から多少変更になる予定です。規模については従来通りの計画をしております。最近の傾向として全国各地で大きな災害が発生しており、コミュニティ活動の中でも最重要課題として考えております。新型コロナウイルスの感染防止対策を踏まえて、本部役員会議等で議論をしながら計画してまいります。

＜敬老会＞

令和3年度の敬老会は9月12日(日)に金沢小学校で行われる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、昨年に引き続いて中止となりました。敬老会中止により、今年度中に80歳以上になられる方に対して、今年も生活応援品が贈られます。金沢学区では昨年度、地域の商品券を選定しましたが、期限内の使用ができなかった方もいたため、今年は身近な「生活応援品」を送ることにしました。

＜文化祭・芸能祭＞

文化祭は11月13日(土)から14日(日)に予定しております。今年度は出店等の催事は実施しないで、交流センターへの入場人数も制限することなどを考慮し、計画を進めています。

芸能祭についても、日頃の皆様方の練習の成果が発揮できるように予定通り進めていきます。参加グループの数や入場人員の制限をせざるを得ない状況が予想されますが、今年度は開催できるように新型コロナウイルス感染の状況を見ながら計画していきます。



令和元年度 敬老会



令和元年度 文化祭

令和3年度の主な行事日程

(各行事は新型コロナにより延期・縮小・中止の場合があります)

予 定 日(曜)			行 事	場 所	予 定 日(曜)			行 事	場 所
4月	10(土)	第47回 総会	規模縮小		10月	17(日)	ふれあいボウリング	K-1ボール	
	24(土)	役員会	規模縮小			24(日)	生活安全のつどい	日程変更予定	
6月	6(日)	館内一斉清掃	金沢交流センター		11月	13(土)~14(日)	住民文化祭	規模縮小	
	13(日)	環境の日	各支部担当地域			21(日)	グラウンドゴルフ大会	金沢小グラウンド	
	25(金)	学区親睦ゴルフ大会	グランドスラムCC		12月	5(日)	パンボン大会	金沢小体育館	
8月	21(土)	かねさわ「元気っ子」	延期		1月	8(土)	新春賀詞交歓会	中止予定	
	28(土)	オリエンテーリング	中止			23(日)	みんなで遊ぼう会	規模縮小	
9月	12(日)	敬老会	中止		2月	20(日)	住民芸能祭	規模縮小	

この広報紙「かねさわ」は金沢学区に住んでいる2,800世帯に配布しております。

コミュニティ活動のデジタル化に向けて

金沢学区コミュニティ推進会では、令和3年度から高齢者を中心に、デジタル情報社会への対応を促進するために勉強会を実施しています。今後、ICT化やデジタル化が進む時代に向かって、高齢者が少しでもデジタル化に対応できるように、主としてスマホの利用を主な目的としています。4月に参加メンバーの募集を行いました。58人の参加応募があり、希望により午前と午後の2クラス・8グループに分かれてスタートしました。5月29日(土)に第1回を行い、第2回は6月26日(土)、第3回は7月29日(木)に実施しました。



開講式ではケーブルTVの取材がありました

第1回目は開講式を行い、泉会長の挨拶、谷川DX・レクリエーション部担当副会長、日立市コミュニティ推進課の滑川課長からご挨拶をいただきました。続いて、龍副部長からデジタル勉強会の主旨説明がありました。最初の課題は交流センターに設置されているWi-Fiを自分のスマホにインストールでした。

その後、講師である日立製作所の峯元さんから「ひたちナビ」アプリをQRコードからスマホにインストールし、それぞれ自分のスマホで実行しました。特に「ひたちナビ」は、日立市の情報サイトであり、「新型コロナウィルス情報」や「災害情報」などがいち早く入手できることがわかりました。その後、ひたちMaaSによるデマンドタクシーの予約等についても学びました。

第2回目は事務連絡の後、交流センターの株木書記が講師になり、LINEの設定を勉強しました。LINEは比較的簡単にメールや写真の共有ができるアプリが便利に使い、グループ内で実際のメールのやり取りを勉強しました。



真剣な表情の参加者

また、各グループではおともだち機能により、LINEを使用して各種連絡に使用できるようになりました。峯元講師からは6月11日(金)から7月22日(木)まで行われていた「ひたちデマンドタクシー」の予約方法を勉強しました。

7月9日(金)にはデマンドタクシーとひたちBRTの試乗会を開催し、16人の方々が参加しました。金沢交流センターからBRT大沼駅まではデマンドタクシーを使用し、大沼駅からはBRTを使用しておさかなセンターまで行きました。金沢交流センターを出発しておさかなセンターまで約30分の所要時間でしたが、思いのほか短時間で移動でき、BRTの利便さを実感しました。

第3回目の勉強会は、スマホを利用して自分の健康管理と病院の予約や自宅診療の方法について学びました。金沢学区内でも、スマホによる予約や診療を実施している病院があることを知りました。Zoomを利用したテレビ会議システムのインストールも勉強し、最後に地域福祉局の水野局長から出前館アプリのインストールと注文の方法の講義がありました。早速、スマホからクーポン券を利用して注文を行い、夕食に出前館を利用した参加者もいました。



高校生ボランティアが活躍しました

デジタル勉強会には、金沢学区から高萩高校に通う4人の女子高生がボランティアとして参加して、各グループに寄り添い、インストールやわからないところのお手伝いをしていただき、笑いの絶えない和やかなデジタル勉強会になりました。

9月30日(木)からは後半の勉強会に入り、マイナンバー、確定申告、各種行政手続きなどを勉強していきます。興味のある方は今からでも受け付けていますので、是非参加してください。

(DX・レクリエーション部)



ボランティアの女子高生 仲良し4人組

金沢学区広場の拡張工事が完成し、記念のグラウンドゴルフ大会を開催

去る6月27日(日)に金沢学区広場リニューアル親善グラウンドゴルフ(以後GGと記す)大会を開催しました。当日は天候が心配になりましたが、絶好のGG日和となり、楽しくプレーすることができました。開会式にはコミュニティ推進会の泉聡二会長よりご挨拶をいただき、大会が始まりました。

本大会は日立市下水道局及びコミュニティ推進会のご支援で、芝生面積の範囲拡大と広場への客土を実施、拡張された金沢学区広場にて実現したものです。当日は安全を考慮し、金沢学区内のGGサークルの中から40人を選抜して行いました。

ホールインワンを4つも記録する人もおり、日頃の練習の成果を発揮した人など悲喜交々の中、楽しい時間を過ごしました。表彰式に続いて、事務局長からお礼の言葉をいただき、無事に終了することができました。最後になりますが、今回の大会開催に際し、コミュニティ推進会及び台原中央公園を守る会よりご支援をいただきましたことに対し、厚く感謝申し上げます。

金沢学区広場グラウンドゴルフ同好会
荒木 勉 様



開会式の泉会長挨拶



試合前の集合写真

第1回金沢学区親睦ゴルフ大会開かれる

6月25日(金)に金沢コミュニティ推進会主催の第1回親睦ゴルフ大会が、グランドスラムカントリークラブで開かれました。学区内のゴルフ愛好家の親睦を目的として、総勢30名の老若男女が参加し、記念撮影とミーティングの後、中コース4組、西コー

ス4組に分かれてスタートしました。晴天でコンディションは良好、競技方法は新ペリア方式による成績は以下の通りです。なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から競技後の表彰式と反省会は実施しませんでした。

(総務部親睦ゴルフ実行委員会)

優勝 齊藤 智 様
準優勝 前田 高 義 様
第3位 水野 とみ子 様



優勝



準優勝及び
ベストグロー



第3位



おつかれさまでした

災害に対して不断の備えを心掛けましょう。

交流センター利用団体の紹介①

ふれあい生きいきサロン

代表 石川 清久

令和3年度より、あんしん安全ネットワーク部から「ふれあい生きいきサロン」の管掌が変わり、新しく創設された地域福祉局のもとで活動することになりました。

私たちのふれあい生きいきサロンは、会員33名・民生委員13名・協力員10名で構成しています。活動として年間10回のサロンを行い、会員の皆様と和気あいあいと楽しく活動しています。また、年5回の食事会・音楽鑑賞・ゲーム及び室内運動会・日本舞踊・映画鑑賞・体操など様々な活動をしています。昨年は新型コロナウイルス感染防止のため、予定通りの活動はできませんでした。本年度も新型コロナウイルスは収束していないので、予定していたサロンも中止することが多かったです。会員の皆様にアンケートを実施し、今後の活動の参考にして、より良いふれあい生きいきサロンにしていきたいと思ひます。



ふれあいサロンさくら

代表 跡部 文江

ふれあいサロンさくらは、今年で3年目を迎え、会員も30余名に増え、活動内容も充実してきました。コロナ禍の中、毎月第2水曜日午前9時30分より、マスク姿の笑顔で元気に集っています。

一人暮らしの方、高齢の方などさまざまですが、健康寿命を延ばすことを意識して、シルバーリハビリ体操をはじめ、脳トレ、折り紙等、楽しいサロン活動を目指しています。

ますます高齢化が進む昨今、人との出会いによって絆を得て交流を深め、楽しいひと時を過ごすことは大切であると思ひます。

現在3名のスタッフの協力を得、頼もしい限りです。会員の方々も明るく、ポジティブに参加しています。月2回程度の活動をどの要望もありますが、時間と場所の都合上、月1回を有意義なものにしたいと考え、努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



ふれあい健康クラブ

代表 臼井 清巳

ふれあい健康クラブは、高齢者を対象に、健康チェックをはじめ介護予防や健康づくりのための体操やレクリエーションを行っています。65歳以上の介護保険を利用していない方を対象に、軽い体操やゲームなどを毎月2回実施しております。

春はお花見、秋はミニ運動会など季節毎の行事もあります。現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、飲食を伴う活動を中止しており、メンバー及びスタッフを半数に分けて月1回ずつの活動を行っています。メンバーは44名、ス

タッフは16名で活動しています。

内容により講師の方をお招きしています。欠員が出た場合のみ新規メンバーの募集を行っており、その際は回覧等でお知らせしていますので、興味がありましたら、お申し込みください。



交流センター利用団体の紹介②

おとこの会

会長 高橋 義明

当会は、創設から17年が経過しました。当時、事の是非はさておいて、男性は一般的に在職中で仕事が忙しく、住んでいる地域の方々や、地域の行事に関わる機会が少ない。地域に顔見知りがないまま定年を迎え、「時間を持て余す」といったたことがあるとも耳にしました。ところが、女性の多くは、子供の学校関係等から人脈を広げ、子育てが一段落した頃から、いよいよ趣味や地域活動に忙しくなるようです。

そこで、そば打ち・男料理・ハイキング等々の定例行事を実施し、異業種に携わった方々と、互いに善き点を学び合いたいという主旨で、「お

とこの会」というサークルを創設しました。

会のモットーは「互いに讃えあい、善き点は学びあい、建設的で前向きな意見交換をしよう、交流センターには感謝の気持ちで」です。



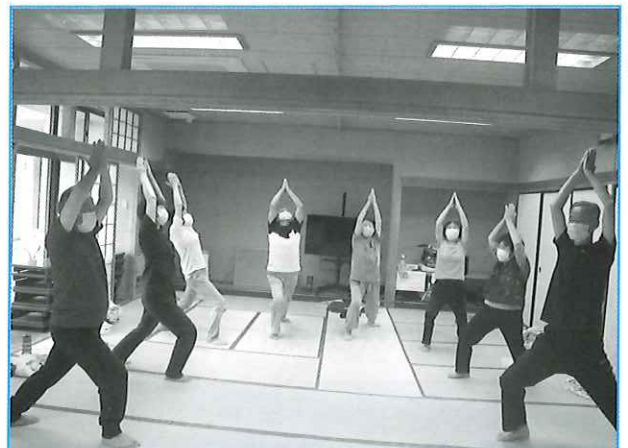
金沢ヨーガ同好会

代表 福原 政広

ヨーガで心・身・シャンティタイム (安らぎ)

私たちのヨーガ同好会は、平成元年度に金沢交流センターが創設されたときに発足しました。会員は7名で、うち男性は3名です。講師は、地元の湯佐けい子先生(日本ヨーガ学会教授)です。

ヨーガは、インド5千年の秘宝といわれ、その目的は『精神の平安』『生命の歓喜』とされています。最初に正座をして、合掌をしながらマントラ(真言)を唱えます。無理せず、マイペースで季節ごとの呼吸法やポーズ、瞑想法を学びます。ポーズは、「太陽の礼賛」「太陽のマントラ」「英雄のポーズ」など、目的によりいろいろあります。



ヨーガは、有酸素運動です。腹式呼吸を伴いながら、体を動かすことによって心も軽くなり、ストレスも消えてゆき、心身のバランスを保てる癒しの時間です。毎月第2・4週の木曜日午後1時15分から3時まで活動しています。

ウクレレフレンズ

代表 内山 明

田口先生のご指導のもと、26名のメンバーで、演奏発表会(年間10回程度)に向け、練習に励んでいます。演奏曲はハワイアンやお年寄りが喜ぶものです。ベースやフルートも合わせて演奏することもあります。演奏依頼はウエルカムです。演奏を聴いてくださる方々の満足な表情が見られたとき、達成感と充実感を味わえます。



かねさわ 文芸

短歌

・二年前の令和一年もみじ狩

「三密」なくレディスランチ

※ 車二台でサークル仲間と花貫溪谷へ。
コロナ禍もなく今では貴重な一日。
楽しい一日

・街角の「元氣カフェ」のコンサート

マスクの中に笑顔のハミング

※ 「音楽は心のビタミン」。感染対策をして
ミニコンサート。心の和んだひととき。

金沢団地支部 湯佐けい子

俳句

・夕焼けの向ふが見たい幼き子

※ きれいな夕焼けを見ていると、子供が言う
程美しい。

台原団地支部 竹田都

・綿菓子のふくらみ集う秋祭

※ 綿菓子の機械がおもしろく、子供たちが集
って見ている。

根道ヶ丘団地支部 古川ヨシエ

・二重虹大海原に橋架けり

※ 太平洋を跨ぐかのように虹の架け橋に観とれ、
夢の世界に浸りました。

根道ヶ丘団地支部 跡部ふみえ

囲碁・将棋・健康麻雀大会実施される

6月13日(日)に囲碁16名、将棋7名、健康麻雀19名の合計42名の参加で実施しました。囲碁・将棋は少人数ながら普段の練習とは違い、熱気のコもる競技となりました。健康麻雀は今回8名の女性が参加し、4回戦を実施し1回ごとに自分の順位、得点を確認しながら次の試合に臨み、熱戦が展開されました。来年も誘い合っでご参加ください。大会の結果は次のとおりです。(文化部)



大会結果 (敬称略)

優勝	準優勝	三位
囲碁A：金子 洋	星 儀	天和 寛
囲碁B：後藤 俊介	本多 朝夫	大久保 英樹
将棋：村山 清三	草野 秀明	川野 三郎
麻雀：鴨志田 吉朗	三浦 昭二	荒木 勉

随筆

無意識の偏見

日本は未だに「ジェンダーギャップ(男女格差)」指数121位に甘んじている。子供のおもちゃで「おままごとセット」を男の子が多く買い、「ピンクの電車のおもちゃ」を女の子が買うそうです。以前は、おままごとは女の子、電車は男の子と決まっていたものだ。幼少期の大人の対応が男の子・女の子を決めていたとのこと。若い頃に感じていた疑問だが、未だに女性大臣は少なく、社長や企業のリーリーダーとなる女性も少ない。

この頃ようやく、女性起用の話を聞くようになった。前経団連会長の中西氏は日立製作所出身の方だが、経団連の副会長に女性がいなことを憂い、DeNA会長の南場智子氏を女性初の副会長に起用した。人事院総裁は、前任の一宮氏に続いて二人目の女性総裁起用となった川本氏。それぞれに簡単になれた訳ではない。若いときからの努力があったの今の地位ではないのか。女性の総理大臣・知事・市長と普通になる事を見ることが出来るだろう。

(広報部部长 瀬ヶ沼きよみ)